

特別の教育課程の編成等の方針について

糸満市立糸満南小学校

1 新設教科の名称

海人(うみんちゅ)科

2 新設教科の目標及び内容

これからの時代において必要となる、グローバル的な視野を最大限に生かすには、自分の地域を知ることが不可欠である。地域素材としての「海」文化を活用し、1～2年生は生活・国語の時間15時間、3～6年生は総合的な学習の時間から20時間程度削減し、「海人(うみんちゅ)科」を1～2年生は15時間、3～6年生は20時間新設する。

人類は、海洋からただいなる恩恵を受けるとともに、海洋環境に少なからず影響を与えており、海洋と人類の共生は国民的な重要な課題である。市内にある地域資源を使い、子供の問いから学習を広げていきい。体験活動から探究活動に発展させる。探究活動において課題の設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現を行う。特に学んだことを自分の言葉で表現することができるよう促し、自己肯定感が高まる学習につなげる。

3 内容を削減した教科等で削減した内容の補充について

糸満南小学校では、学校独自に取り入れた海洋体験学習や地域資源を活用した探究的な学習を系統的に行っている。その際、国語科、社会科、理科等から削減したのが下記の資質・能力を育む指導内容である。

- 1 基礎的・基本的な知識や言語能力
- 2 情報活用能力
- 3 問題発見・解決能力等

上記の資質・能力を育む内容を海人科の実践を通して育てていく。

4 地域や学校の特色を活かして行う教育について

糸満は昔から海人のまちと呼ばれ、伝統舟艇「サバニ」を通し、生計を支えていた歴史がある。最盛期には南洋を中心として国内外の広い地域で漁を行っていた。国内においては千葉県や福島県、国外においてはシンガポールやフィリピンなど世界で活躍し、糸満が日本・世界に誇れる文化である。一方で近代化とともに漁業で生計を立てる人々の割合が減り、同時に子供たちの海に関わる体験活動の機会も減り、海洋文化への理解や関心は低下してきている。

総合的な学習の時間や各教科の関連ある単元に替えて「海人科」を新設し、体験活動を通し探究活動に発展していきたい。地域のことを自分事として見つめ学んだことを他者に表現し、できたことが自分の自信につながるようにしたい。